

学校教育目標の実現

心と体と頭をきたえましょう

- ・よく学び、よく考える子供 <<知>>
- ・仲良くし、助け合う子供 <<徳>>
- ・進んで取り組み、やりぬく子供 <<体>>
- ・いつも明るく、元気な子供 <<自己肯定感の醸成>>

研究主題

よく考え、進んで思いを表す子どもの育成
～学び合いの中で確かな学力を育む算数科の授業づくり～

〈めざす子ども像〉 ①問題・課題解決への見通しを持ち、自分からやってみたいと思える子ども
②学んだことを生かし、助け合いながら課題・問題解決しようとする子ども
③発展・補充的な問題に取り組み、理解を深めることができる子ども

教師（授業力の向上）

- 問題・課題の工夫、改善
- 教材、教具の活用
- 発見、感動、達成感のある授業

授業の工夫 (学び合い)

児童（考える力の向上）

- 基礎・基本の徹底
- 主体的な学習態度
- 考えることの楽しさ
- よりよくかかわりあう力

研究仮説

単元構成を見通し、1単位時間の授業の流れの中に「学び合い」の場면을効果的に位置付け、指導の工夫をすることによって、子どもたちは学習意欲を高め、確かな学力を身に付けることができるのではないか。

児童の実態

- ◇自主的な学習態度に差が見られ、学力の二極化が進みつつある。
- ◇他者とかわり合って、自らを高めていこうとする積極的な姿勢がやや弱い。
- ◇思考の過程をノートにまとめたり、筋道を立てて表現したりすることが苦手。